

＜派遣時共通目標と振り返り＞

1. 受け入れ時に築いた信頼関係から、積極的にコミュニケーションを取り、お互いの文化や価値観、学生生活について理解を深め、説明することができる。
→ 今回のプログラムだけで交流を終わらせるのではなく、今後も交流が続けられるような関係性を築くことができた。また、そのような交流を通して互いの文化や価値観の相違や共通点を理解することもできた。そして、韓国の学生生活や文化を体験することにより、得た経験を学生間で共有できたため、目標を達成することができた。
2. 病院見学や学生交流を通して、韓国と日本の医療・看護・保健・福祉の違いや共通点について積極的に質問・意見交換を行い、互いの学びを共有することで理解を深め、説明することができる。
→ 韓国での見学を通して、医療や看護などの日本との違いや共通点について理解を深めることができた。また、韓国の学生との交流では、受け入れ時よりも積極的に日本との違いや共通点について意見交換や質問を行うことが出来た。医療制度や産業看護師について具体的に知ることができ、日本の学生間で学びを共有することができたため、目標を達成することができた。

＜プログラム＞

1日目 2026年8月17日

＜福岡国際空港から金海国際空港へ移動＞

1日目は、朝に大分駅に集合し博多駅へ、地下鉄に乗って福岡国際空港に移動しました。昼ごろに離陸し、15時頃に金海国際空港に到着しました。着陸と同時に乗客が機内の窓を一斉に閉めていました。驚いて後々調べてみると軍の基地が金海国際空港に隣接しており軍の作戦が漏れないようにするためだそうです。到着するとUOUの学生がウェルカムボードを掲げて出迎えてくれ、久しぶりの再会で記念写真を撮影しました。現地では大雨が降っていましたが、空港にバスが迎えに来てくれたためそのまま空港からホテルまで移動しました。バスの中では韓国のお菓子の詰め合わせをもらい、UOUの学生と会話を交わす学生やバスの窓から見える韓国の風景を楽しむ学生の姿が見られました。



＜ウェルカムパーティー＞

ホテルでチェックインを済ませた後、参鶏湯のお店で夕食をいただきました。参鶏湯と韓国キムチを食べました。韓国のキムチは酸味と辛味が強く、韓国は辛い食べ物が多いと聞いていましたが日本との違いを感じた瞬間でした。参鶏湯の食べ方をUOUの学生に教わりながら、受け入れから派遣まで何をしていたか、これからのスケジュールについて多くコミュニケーションをとりました。少し期間が空いたため、最初はお互い緊張しましたが会話を交わす中で緊張がほぐれ、仲を深めることができました。食事を済ませた後は、教員と生徒で分かれて韓国のコンビニやデパートをUOUの学生と散策しました。UOUの学生がホテル周辺にあるお店を案内してくれ、美容商品やお菓子などを購入しました。



2日目 2026年8月18日

＜蔚山大学＞

2日目の午前中は、朝からバスで蔚山大学へ移動し、歓迎セレモニーを行っていただきました。大学に到着すると、先生方や学生の皆さんが温かく迎えてくださいました。はじめに、蔚山大学について紹介する動画が上映されました。音声は英語でしたが、日本語の字幕が付いていたため、大学の特徴や取り組みについて分かりやすく知ることができました。



次に、「韓国における産業保健システムと産業保健看護師の役割」をテーマとした講義を受けました。蔚山大学は地域の産業との関わりが深く、産学連携にも力を入れていることを知りました。また、産業看護師として働くことを希望している学生も多いことを知り、大学での学びと地域の産業が密接につながっていることが印象に残りました。その後、蔚山大学の学生の皆さんから、日本を訪問した際の学生交流で得た学びについて発表していただきました。韓国の学生が日本で実際に体験し、感じたことを知ることができ、日本と韓国の学生がお互いの文化や生活について学び合うことの大切さを感じました。

最後に、学生のダンスチームがダンスを披露してくれました。学生の皆さんのダンスの技術の高さに驚くとともに、看護の勉強で忙しい中でも、ダンスを通して気分転換やストレス発散をしながら活動していることが印象に残りました。本学ではサークル活動があまり活発ではないため、学生同士が共通の興味を持って活動できる場があることは良いことだと感じました。

＜蔚山大学中央図書館＞

午後からは、蔚山大学中央図書館を見学しました。館内には歴史資料館があり、蔚山大学の歴史に触れることができました。また、海外の大学や機関などとの交流も盛んに行われていることが印象に残りました。図書館内には学習スペースが充実しており、グループスタディールームも設けられていました。グループ学習の際に利用できるだけでなく、それぞれの目的に合わせて学習できる環境が整っていることが良いと思いました。また、リフレッシュできる空間も設けられており、長時間勉強する学生にとって、集中と休憩を切り替えながら学習できる環境が整っていると感じました。図書館が単に本を利用する場所ではなく、学生の学習を支えるためのさまざまな環境を備えていることが印象に残りました。



＜蔚山大学アサン・スポーツセンター＞

図書館を見学した後は、蔚山大学内にあるアサン・スポーツセンターを見学しました。プールやフィットネスジム、室内ゴルフ練習場、体育館など、さまざまな施設が整備されており、大学関係者だけでなく地域の方々も利用できる施設となっていることが印象的でした。アサン・スポーツセンターは、大学の学生や教職員の福利厚生だけでなく、地域住民の健康増進や余暇活動の場としても利用されています。また、利用時には顔認証を活用した入場システムが導入されており、施設のさまざまな場所で顔認証の機械を見かけました。実際に、ヘルスジムや室内ゴルフ場などで顔認証による利用者確認が行われており、デジタル化が進んでいることを実感しました。蔚山大学の学生は利用



料の割引を受けられるとのことで、大学内にこのような施設があることで、学生が日常的に運動できる環境が整っていると感じました。また、地域の方々も利用できることから、大学と地域をつなぐ役割も果たしているのだと思いました。



〈南区（ナムグ）保健所・認知症ケアセンター 施設見学①〉

蔚山大学を出て、南区保健所・認知症ケアセンターを見学しました。保健所内には歯科があり、生活が困難な方などが無料で治療を受けられることを知りました。日本では保健所に歯科があるというイメージがなかったため、驚きました。また、韓国では結核対策が重要な健康課題の一つとなっており、検査のための設備が設けられていることにも驚きました。日本と韓国では、それぞれ抱えている健康上の課題や、それに対する取り組みに違いがあることを知り、国によって保健医療のあり方が異なることを実感しました。



認知症ケアセンターでは、認知症の方が脳トレを行う場所や、気持ちを落ち着かせるためのクールダウンスペースなどがありました。韓国でも高齢化が進み、認知症への支援が重要になっていることを知りました。また、認知症の本人だけでなく、家族が相談できる場所でもあることを知りました。本人への支援だけではなく、家族への相談支援や他の施設との連携を行いながら、認知

症の方を地域全体で支えていることを学びました。日本と韓国では制度や施設の形に違いがある一方で、本人だけでなく家族も含めて支援することの大切さは共通していると感じました。

〈夕食 韓国料理&インターナショナル・ビュッフェ〉

夕食はビュッフェでした。初めて見る料理がたくさんあり、韓国の学生にどんな料理か教えてもらいながら選びました。いつも慎重派で挑戦しないのですが、韓国の学生から背中を押してもらって、いろいろな食べ物に挑戦することができました。学校生活のことなど、お互いのことについて話しながら楽





しく食事をすることができました。食事を一緒にすることで、学校での生活や普段の過ごし方など、施設見学や講義だけでは分からないお互いのことを知ることができ、学生同士の交流の楽しさを感じました。

3日目 2026年8月19日

〈蔚山大学校病院 Ulsan University Hospital〉

3日目の午前中は、蔚山大学校病院を見学しました。最初に、講堂で病院の概要について説明を受けました。病院は、創設者のチョン・ジュヨン氏の「アサン精神」のもと、すべての人が疾病の苦しみから解放されるようにというミッションを掲げて、医療を提供していました。診察能力が全国で12位や8年連続医療の質1位など、全国的にもトップクラスの医療技術を有していることに驚きました。また、新人看護師の応援プログラムがあることや、勤務が3交代制であるなど、日本との違いにも気づくことができました。説明を受けた後、OUNHSとUOUで二手に分かれて、病院内を見学させていただきました。まず、初診の方向けの受付担当者様からお話を伺いました。蔚山大学病院は第三次医療機関であり、蔚山市内外から多くの患者が依頼される重症病院だからこそ、一箇所に集中させるのではなく、各専門機関や地域と協力して医療機能を分散させることを心掛けていらっしゃいました。



次に、治療前の検査の日程調整などの支援を行う部署の方から、話を伺いました。こちらの部署では、検査の種類に応じた待ち時間の短縮などを支援しているほか、電話窓口を設け、検査後の経過に関する相談にも対応していました。

また、手術室の中も見学させていただき、手術ロボットを実際に見せていただきました。年間1500件のロボット手術を行い、ロボットの導入によって手術の効率向上を図っていました。さらに、陰圧室や消化器病棟なども見学させていただき、感染対策の設備や病室の工夫などについて、日本との共通点や違いについて理解することができました。見学が終了した後は、全員で写真撮影を行い、病院の方々へ感謝の言葉を伝えました。



＜中華料理と現代デパート＞

病院見学が終了した後、病院のすぐ近くにある現代デパートに徒歩で移動しました。昼食は、デパートの中にある中華料理屋でジャージャー麺やタンسوを食べました。ジャージャー麺は、麺がもちもちしていて、甘めの味付けで、日本人でも食べやすい味でした。昼食を食べながら、蔚山大学病院についてや看護実習などについての話を共有しあいました。

昼食後は、現代デパートの中の雑貨屋やオリーブヤングなどで買い物をしました。UOUの学生におすすめの商品を聞きながら、各自お土産を購入しました。



＜カフェと大王岩公園＞

現代デパートを出発し、バスで海沿いの場所まで移動しました。バスの中で、カフェのメニューを見て、各自好きな物を選びました。カフェに到着して、各自注文したものをドリンクを飲みました。韓国はカフェ文化であり、ドリンクのサイズもとても大きかったことに驚きました。カフェは海沿いにあり、海を背景にドリンクの写真を撮りました。その後、急な階段を登り、大王岩公園に向かいました。公園には大きな橋があり、海の素敵な景色を眺めながら渡りました。自然に触れることで、気持ちをリラックスさせることができました。



〈夕食：しゃぶしゃぶ、フリータイム〉



大王岩公園を出発して、バスでホテルまで帰りました。その後、徒歩でしゃぶしゃぶ屋さんへ移動しました。韓国式のしゃぶしゃぶで、ライスペーパーでお肉や野菜を包んで食べたり、シメに雑炊にするなど、日本とは違った食事方法でとても美味しかったです。しゃぶしゃぶを食べ

たあとは、UOUの学生とロッテ百貨店にタクシーで向かい、お菓子などのお土産を購入しました。その後、百貨店内にあるメガコーヒーでドリンクを頼み、みんなで楽しく飲みました。その後、二手に分かれて、カラオケに行ったり、コンビニなどでショッピングをしたりして楽しみました。カラオケでは、お金を入れた分だけ曲を歌うことができ、日本とはまた違った仕組みになっていました。それぞれ楽しんだ後、ホテルに戻り、UOUの学生に感謝を伝えて別れました。



4 日目 2026年8月20日

〈韓国産業安全保健公団（施設見学③）〉



4 日目の午前中は韓国産業安全保健公団を見学しました。始めに会議室で韓国の産業状況や日本との比較、産業安全保健とは何かについて講義を聞きました。その後、作業現場における換気と騒音の課題について実習を行いました。換気の実験を行う部屋では、実験用の大型機械を使い空気中の物質の流れを学びました。また、気体採取器を用いて部屋の二酸化炭素濃度を測る実験も行いました。

次に騒音実験を行う部屋では、イヤーマフをつけたまま様々な音を聞いたり、防音や反響設備のある部屋に入ったりしました。作業

現場から生まれる音でも、労働者が聞く音と地域の人が聞く音は異なり、人によって騒音に感じる音が異なることを体感しました。最後の部屋では密閉空間の危険性について学びました。部屋に人が倒れているのを発見した場合、人は有毒ガスが下に溜まることを忘れるそうです。上だけ見て大丈夫だと勘違いし、助けに入室してしまうことで本来ならば助かる命も、危険な状態になってしまうという事が特に印象的でした。病院でも複数人いる部屋では、昼は気にならなかった機械音も就寝時には騒音になってしまう事もあると学びました。お土産として、耳栓と飲み物、お菓子もいただきました。



〈昼食ービビンバー〉

公団見学のあと、バスで釜山まで移動し、昼食を取りました。韓国の麦ごはんや韓国家庭料理のお店で、韓国の伝統料理であるビビンバをいただきました。ナムルやお肉、コチュジャンなど好きな具材を混ぜて、それぞれ自分好みのビビンバを作りました。昼食からは、釜山に住んでおられる蔚山大学の先生と合流し、その後の日程の付き添いをしていただきました。



〈ロッテワールドアドベンチャー プサン〉

昼食のあとは、観光でロッテワールドアドベンチャープサンに行きました。乗りたい遊具ごとに韓国の学生と日本の学生が混合で3グループに分かれ、お土産を選んだり、遊具を満喫したりと充実した時間を過ごしました。最後には全員で記念写真を撮りました。かなり気温も高かったですが、誰も体調を崩すことなく約3時間韓国の遊園地を満喫しました。



〈フェアウェルディナー韓国チキン〉

釜山を出発し一度ホテルに戻った後、韓国チキンのお店で夕食をいただきました。テーブルごとに好きなメニューを注文し、韓国最後の全員での食事を楽しみました。韓国のテーブルマナーを教えてもらったり、4日間の振り返りをしたりしました。最後には一人ひとりに手紙とボールペンのプレゼントをいただきました。



〈ホテルで交流〉

夕食の後は、ホテルの帰り道に韓国のプリクラを撮りました。他にもアイスクーキやパンをテイクアウトし、ホテルでみんなでいただきました。麻辣湯のデリバリーを頼んだり、写真を撮ったり最後の最後まで全員で全員で楽しみました。最後にホテルの外で韓国の学生とお別れの挨拶をし、4日目が終了しました。



5日目 2026年8月21日

＜ホテルから金海国際空港へ移動＞

ホテルから金海国際空港へバスで移動しました。UOUの学生が3人ホテルまでお見送りに来てくれ、そのうちの2人は金海国際空港で出国ゲートまで案内してくれました。キャリーケースの重量制限を超えている生徒もいましたが手荷物の重量とのバランスを整えながら全員無事にチェックインを終えました。ホテルを出発する時刻が早かったため、国際線のゲート内で各々食事をコンビニや飲食店で摂り、最後の韓国での食事を楽しみました。福岡国際空港につき、国内線の福岡空港にシャトルバスで行き、地下鉄で博多駅に向かいました。この後は、先生方が取ってくれた乗車券で帰る生徒と博多駅に着いたと同時に大分行きの電車で帰る生徒に分かれて各々帰宅しました。

